

## 漢方エキス剤のはなし

当院ではツムラのエキス剤を多く使用していますが、他社のエキス剤もあります。カプセル製剤やツムラにない漢方薬もあり重宝しています。ぜひ機会があれば試していただきたいです。

### 東洋薬行

桂麻各半湯 (けいまかくはんとう)	桂枝湯と麻黄湯を半量ずつ併せたもの。 発熱のあるカゼをひいて、汗をかいたがうまくカゼが抜けないうきに飲みます。
桂枝加葛根湯 (けいしかかこんとう)	「肩こり」に使います。 葛根湯から胃に障(さわる)麻黄を抜いたものです。 後頸部・項(うなじ)が凝る肩こりに頓服で使います。



### コタロー

桔梗石膏 (ききょうせつこう)	カゼの初期のノドの痛みに使います。 石膏は熱を冷ます強力な生薬です。
麻黄附子細辛湯 (まおうぶしさいしんとう)	カプセル製剤です。 脈が沈む、冷える、体力がない人が使います。 カプセルのため飲みやすく飲むとカラダがポツと温まり、鼻汁、くしゃみ、ノドのイガイガ感が治ります。

### オーズギ

小青竜湯エキス錠 (しょうせいりゅうとう)	小青竜湯はすっぱ苦いので、錠剤がいいと言われる方がいます。 1回に6錠は多いですが、アレルギー性鼻炎の方には好評です。
五虎湯エキス錠 (ごこうとう)	湿性の咳嗽や気管支喘息に使います。 1回3錠ずつは飲みやすいです。
当帰芍薬散料エキス錠 (とうきしゃくやくさん)	中高生の女子の月経不順、月経困難によく使われています。

### 三和

黄芩湯 (おうこんとう)	発熱、嘔吐、下痢の3つが同時に見られる胃腸炎に用います。熱はすぐ下がる人が多いです。
葛根加朮附湯 (かっこんかじゅつぷとう)	後頸部の痛み、両手のしびれなどに使います。

まだまだ他にもありますが、当院で処方される機会が多いものを御紹介しました。日本のエキス剤は優秀です。どれを抜き取っても同じ品質で安心して飲めます。1回1包、1日2回あるいは3回が大人の常用量であることが多いですが、症状によっては1日3回ではなくて4回、5回と飲むこともあります。食前に飲むように記載するのは標準のようになっていますが、食中、食後の内服でも効能は大きく変わりません。自分に合う漢方薬を見つけて、日ごろからサッと使って「早めにキレイに」症状を治すというのが良い方法です。漢方薬を飲むことによって、自分の壊れたシステムを正常化する応答を引き出してくれます。引き出された応答により、自分でシステムを治し、正常な状態に戻していくのです。

## 最近の外来状況

鼻カゼが圧倒的に多くみられます。  
水様性鼻汁、膿性鼻汁が出る、つまる等の症状によって漢方薬を変更しています。  
イネ科、雑草系の花粉症で困っている方がいます。  
抗アレルギー薬を手放せないようです。  
高熱が出るカゼは今後も増えていくと思われます。  
漢方薬を飲める方は葛根湯、麻黄湯、麻黄附子細辛湯、香蘇散などを使って早期に治すように心がけましょう。  
自分に合う漢方薬がわからない場合は相談して下さい。

乾燥肌で保湿剤を希望される方が増えています。  
人によって自分に合う保湿剤が異なります。  
サッとすばやく塗れるローションは乾くのが早いですが、クリームだと長期間保湿してくれます。  
乾燥でかゆみ強い方は保湿剤だけでなく、漢方薬、漢方の方剤もありますので、一度試してみてください。



## お知らせ

岐阜市の漢方外来日 12月4日(土)、18日(土)

時間：14:00-17:30 場所：中島小児科(岐阜市健麗東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 12月3日(金)

19:30-22:30(受付) 場所：岐阜市民病院内にて

## 年末年始のお知らせ

令和3年12月29日(水) 午前まで外来診療をします。  
令和4年1月5日(水) から外来診療を開始します(午前のみ)。